

第 2 次船橋市文化振興基本方針 令和 7 年度個別事業評価シート

| | | | | | |
|-----|-------------------|-----|-------|-----|------|
| 事業名 | 令和 6 年度まちかど音楽ステージ | | | | |
| 担当課 | 文化課 | 担当者 | 渡辺・柴尾 | 連絡先 | 2888 |

第2次基本方針における事業の位置付け

| | |
|------------|--|
| 最も該当する基本目標 | Ⅱ 学び楽しむ |
| 最も該当する施策 | Ⅱ 学び楽しむ 施策② 文化・芸術の本質を尊重しつつ、時代の要請に対応した事業の展開 |
| 関連目標・施策 | Ⅱ 学び楽しむ 施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備 |

事業の概要

| | | | |
|------|--|--------|----|
| 開催年度 | 平成26年度 | | |
| 開催経緯 | ストリートミュージシャンや音楽家などが演奏できる場を提供するために事業が始まった。 駅前などの「まちかど」をステージにすることで、市民に身近な場所で音楽を届け、地域に根ざした音楽家の支援を目指している。 | | |
| 事業目的 | 船橋市教育委員会が設置し、ふなばし音楽フェスティバル実行委員会が実施する」路上ライブステージで「演奏活動を行う者の健全な活動の誘導を図り、もって音楽文化の向上と地域の活性化に寄与する」を目的としている。 | | |
| 定性目標 | ・ 音楽を好きな人たちの発表の場を提供することで、地域の音楽文化の発展に寄与する。 ・ 観客に対しても多様な音楽体験を提供し、音楽の楽しさや魅力を広めることを目指す。 | | |
| 定量目標 | ・ 観客数を増やす。 ・ 出演者の年齢に偏りがあるため、幅広い年齢層に出演してもらうために宣伝活動や、企画ステージ等の立案をしていく。 | | |
| 対象 | 市内外問わずすべての人 | | |
| 事業内容 | 開催日：5月～12月にかけての第2・第4金曜日（祝日及び年末年始を除く） 会場：京成船橋駅と船橋フェイスビルの連絡デッキ 事前に利用者登録した登録者が、ステージに申し込むことができる。 応募者多数の場合は抽選を行い、出演者を決定している。 | | |
| 実施主体 | 文化課 | 市との関わり | 主催 |
| 情報発信 | <div><div><input type="checkbox"/> 広報ふなばし</div><div><input checked="" type="checkbox"/> HP</div><div><input type="checkbox"/> チラシ</div><div><input type="checkbox"/> ポスター</div><div><input type="checkbox"/> Facebook</div><div><input checked="" type="checkbox"/> X</div><div><input checked="" type="checkbox"/> その他（ Instagram ）</div></div> | | |

第 2 次船橋市文化振興基本方針 令和 7 年度個別事業評価シート

| | | | | | |
|--|--|-------------------------------|---|---|--|
| 経年 | | | | | |
| 年度 | 令和3年度 (決算) | 令和4年度 (決算) | 令和5年度 (決算) | 令和6年度 (決算) | 令和7年度 (予算) |
| 事業費＝決算額 | 0 | 0 | 110,330 | 194,040 | 244,000 |
| 市予算 | | | 110,330 | 194,040 | 244,000 |
| 補助金・協賛金等 | | | | | |
| その他（ ） | | | | | |
| 人工（常勤職員） | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 |
| 人工（会計年度任用職員） | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 |
| その他人工（委託職員） | － | － | 1人 (ステージ立ち合い) | 1人 (ステージ立ち合い) | 1人 (ステージ立ち合い) |
| 定量目標値 | － | － | 来場者数 620人 | 来場者数 1,150人 | 来場者数 970人 |
| 定量目標値の設定根拠 | － | － | コロナでステージが中止になる前の令和元年度の観客数の1ステージの観客の平均を元に算出 | 前年度の1ステージの観客の平均を元に算出 | 前年度の観客数を元に算出 |
| 定量実績値 | － | － | 来場者数 649人 (1ステージ約16.2人) | 来場者数 970人 (1ステージ約12.1人) | |
| 【%の場合は計算根拠も記入】 Ex.来場者〇人 アンケート回収数〇 アンケート回収率〇% | － | － | － | － | － |
| 事業内容 ※現年度は計画 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、全ステージ中止 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、全ステージ中止 | 開催日：5月から12月にかけての最終金曜日（祝日及び年末年始を除く） 全9回（うち企画ステージ1回） 企画ステージ 『春フェス2024』令和6年3月22日（金） | 開催日：5月～12月にかけての第2・第4金曜日（祝日及び年末年始を除く） 開催時間：午後6時～午後8時30分（30分×5ステージ） 全16回 企画ステージ 『FMS コラボステージ』令和6年10月11日（金）18：30～19：00 | 開催日：5月～12月にかけての第2・第4金曜日（祝日及び年末年始を除く） 開催時間：午後6時～午後8時30分（30分×5ステージ） 全16回 |
| 定性目標の実績について 経緯・変遷 | 令和6年度の新規登録者数が30組であり、令和5年度に再開して以降、音楽を好きな人たちに発表の場を提供できつつある。一方で、観客数が乏しいため、地域の音楽文化の発展に寄与するためにはまだ工夫が必要。 | | | | |
| 自由記述 (これまでの欄で書き切れない内容・特に推したい年度の事業PR・補足説明等、自由に記入する。) | | | | | |

第 2 次船橋市文化振興基本方針 令和 7 年度個別事業評価シート

| | |
|--------|---------|
| 事業評価 | |
| 評価対象年度 | 令和 6 年度 |
| 評価実施年度 | 令和 7 年度 |

事業所管課による一次評価

1：目標を大幅に下回ってしまった。 2：目標をやや下回ってしまった。 3：おおむね目標通りに達成できた。
4：目標をやや上回る実績が得られた。 5：目標を大幅に上回る実績が得られた。

| | | | | | | |
|------|------|--|-----|-----|-----|-----|
| 定性評価 | 評価項目 | 定性目標の達成度 | | | | |
| | | 1 □ | 2 □ | 3 ■ | 4 □ | 5 □ |
| | 評価理由 | 令和6年度の新規登録者数が30組であり、令和5年度に再開して以降、音楽を好きな人たちに発表の場を提供できつつあると評価する。 | | | | |

| | | | | | | |
|------|------|---------------------------|-----|-----|-----|-----|
| 定量評価 | 評価項目 | 定量目標の達成度 | | | | |
| | | 1 □ | 2 ■ | 3 □ | 4 □ | 5 □ |
| | 評価理由 | 定量目標の入場者数1,150人をやや下回ったため。 | | | | |

| | |
|---|--|
| 文化振興推進協議会に 助言・提案を求めたいこと （何が課題か、どのような助言 を求めたいか、明確に記入する こと） | 課題 |
| | ・ 観客の確保 ・ 魅力のあるステージの創設 ・ 出演者の実演スキルの担保 ・ 出演者の年齢層に偏りがある（出演登録者の平均年齢が約50歳） |
| | 求めたい助言 |
| | ・ 令和6年度は出演者の知り合いに声をかけてもらうよう働きかけているが、観客数が伸びない。ミュージックストリートのように選考があるわけではなく、出演登録して抽選に当選すれば誰でも出演可能なステージである。そのため、ステージ経験が殆ど無い登録者も少なくなく、出演者の実演スキルの問題もあり、観客が少ない状態となっている。観客数を確保できる方法があればご助言いただきたい。 ・ 出演者の年齢層に偏りがあるため、幅広い年齢の方に出演してもらうためにはどのような働きかけができるか、ご助言いただきたい。 |

文化振興推進協議会委員による二次評価（文化振興推進協議会にて協議）

| | |
|---------------------------------|--|
| 事業に対する評価・ 今後の事業展開への 助言・提案 | ・観客数の増加か、市民の演奏機会の提供か、事業の力点を明確にした方が良い。 ・観客数の重視なら、選考プロセスが必要。市民の演奏機会の重視なら観客数は気にしなくてよい。 ・年齢層を課題とするなら、部活動と連携し、未成年層の参加を促してみてもどうか。 ・年齢層を課題としなくても良い。それならば、高齢者の参加を肯定的に捉え、「親父バンドに優しい街」として売り出しても良いのでは。また、まちかど音楽ライブ「親父バンドコンテスト」や「学生バンド・リレー・フェス」等のイベントを企画してみてもどうか。それをきっかけに登録者も増えるのではないか。 ・事業の宣伝・周知方法として、YouTubeでの配信や口コミが有効。 |
|---------------------------------|--|

フォローアップ

| | |
|--|---|
| 今後の対応 （文化振興推進協議会委員による二次評価を受けての対応を記入してください。） | 助言でいただきました、事業の力点について、改めて検討し、当該事業には、通常の応募枠のほかに、文化課が企画立案できる企画ステージがございます。今後は通常の応募枠については、市民の演奏機会の充実を主眼に置き、企画ステージについては、より観客が増やせるものにしていきたいと考えております。しかしながら、通常の応募枠についても、各アーティストには、自身のSNS等で周知等を図っていただき、事業の認知度向上に努めていただきます。 |
| 対応の結果 （無理に結果を作り出す必要はありません。結果が出た場合のみ記入してください。） | 企画ステージを定期的に行い、近隣の大学・メジャーデビューのミュージシャン・市内合唱団に出演いただき、まちかど音楽ステージを広い層の方に周知を図りました。結果、昨年度中に登録したアーティストは30組だったが今年度は現時点で39組の新規登録アーティストがおり、観客数も300人以上増えています。 |